

第74期

業務報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



相馬野馬追 甲冑競馬 (南相馬市)



あぶくま信用金庫



理事長 太田 福裕

初夏の季節を迎え、会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当金庫業務に格別のご愛顧とお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当金庫の第74期（令和5年度）の事業概況と決算につきまして、ご報告申し上げます。

さて、昨年度のわが国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、30年ぶりとなる高水準の賃上げ、企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し新たなステージに移行しつつあります。また、日本銀行では、「賃金と物価の好循環」が見通せるとの判断から、令和6年3月「マイナス金利政策」の解除を決定し、日本の金融政策は正常化へ向けて大きく前進しました。

このような状況の中、預金は、法人預金が減少したものの、個人預金および地方公共団体との連携強化により公金預金が増加しました。また、貸出は、事業拡大に向けた設備投資や運転資金への応需により増加し、預金・貸出ともに過去最高の期末残高となりました。収益面では、貸出金増加および日銀の金融緩和の修正による市場金利の上昇により、貸出金利息、預け金利息が増加しました。加えて安定した有価証券利息の確保により、当期純利益は6億9千万円となりました。これも会員皆様と地域のお客様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

普通出資配当金につきましては、自己資本の一層の充実と健全性確保のため年2%とさせていただきます。

当金庫では、今後も営業エリアの市町村と連携強化を図り、地域経済の活性化に使命感を持って取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

事業の概況

I. 事業の方針

令和5年度(2023年度)は、「あぶくま『支援力の強化と変革への挑戦』3カ年計画」の最終年度を迎え、最重要課題である「取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し、地域経済の回復に努めること」に向けて、必要な施策を実践してまいりました。

主な重点施策として、事業者の本業支援強化に向けた伴走支援の推進、デジタル化による営業力強化・業務の効率化とお客様へ新たな価値の提供、持続可能な経営基盤の構築に取り組みました。

さらに、職員の持つ多様な能力を最大限に発揮できるよう「働き方改革」を継続するとともに「やりがい」を感じる職場にするため、「Well-being」の向上に取り組みました。

II. 金融経済環境

わが国の経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、30年ぶりとなる高水準の賃上げ、企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し新たなステージに移行しつつあります。また、日本銀行では、「賃金と物価の好循環」が見通せるとの判断から、令和6年3月「マイナス金利政策」の解除を決定し、日本の金融政策は正常化へ向けて大きく前進しました。一方、内需の増加傾向を維持するため、技術革新や人材投資により、生産性の向上が賃上げや消費の喚起につながるような経済の好循環が課題となっています。

III. 業績

預金等は、コロナ禍での流動性確保のため歩留まりしていた法人預金が減少したものの、主に東京電力の追加賠償金振込による個人預金の増加および地方公共団体との連携強化による公金預金の増加により、前期比43億円増加の3,091億円となりました。また、貸出金残高は、事業拡大に向けた設備投資や運転資金への応需により、前期比9億円増加の981億円となりました。収益面では、貸出金増加および日銀の金融緩和の修正による市場金利の上昇により、貸出金利息、預け金利息が増加、加えて安定した有価証券利息の確保により、経常収益は前期比32百万円増加し27億6千9百万円となりました。一方、経常費用は、信用コストの増加および窓口事務、内部事務の効率化を図るためのシステム投資等により、前期比71百万円増加し18億3千6百万円となりました。その結果、経常利益9億3千3百万円、法人税等を加味した最終的な当期純利益は6億9千万円となりました。また金融機関の本業での収益を示すコア業務純益は、9億5千9百万円を確保することができました。

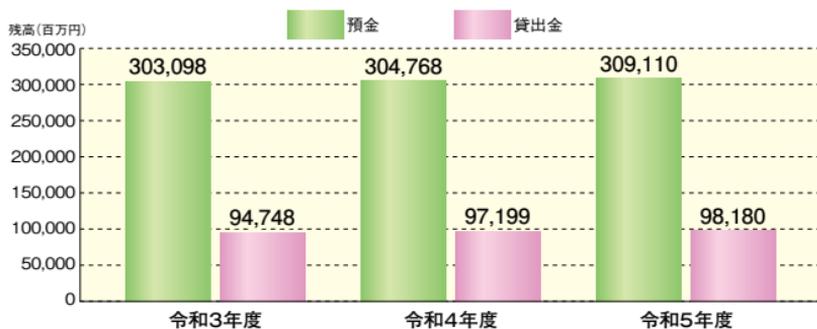
IV. 事業の展望及び対処すべき課題

令和6年度(2024年度)は、「あぶくま『未来を拓く変革への挑戦』3カ年計画」の初年度であり、社会・経済のあり方が変容し“新たな時代の転換点”に直面するなか、自己変革による変化への適応を図り、お客様への貢献並びに地域の持続的発展に貢献することを課題としています。

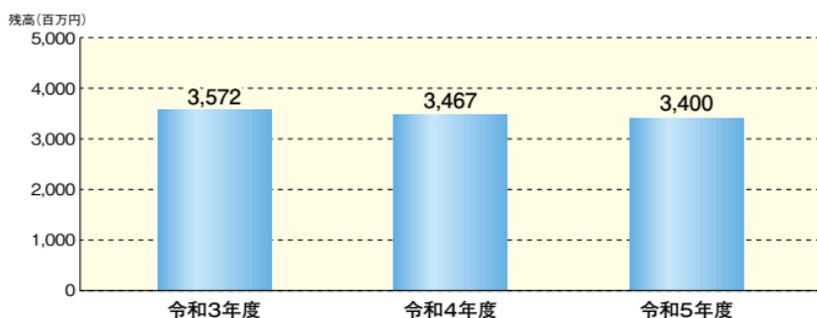
その課題解決のため最も重要な分野を、組織の革新、持続的人的基盤の確立、DXの推進としました。職員が能力を発揮し、働きがいを感じられる組織文化、組織風土の醸成と、広がる信用金庫業務に対応できる「人的基盤」の確立、そして生産性の向上を可能にするDXの推進により、持続可能な経営を確立してまいります。

業績の推移

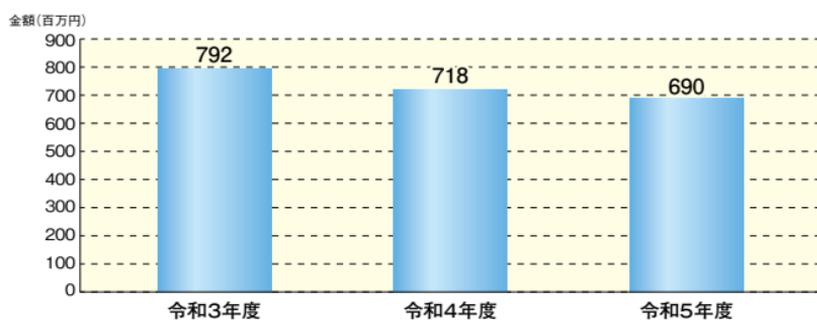
預金・貸出金



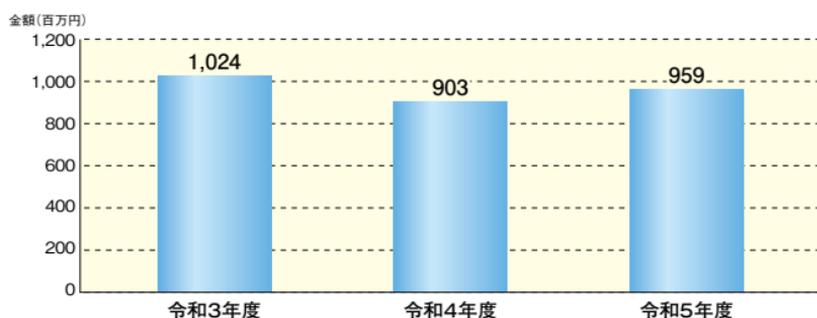
預かり資産



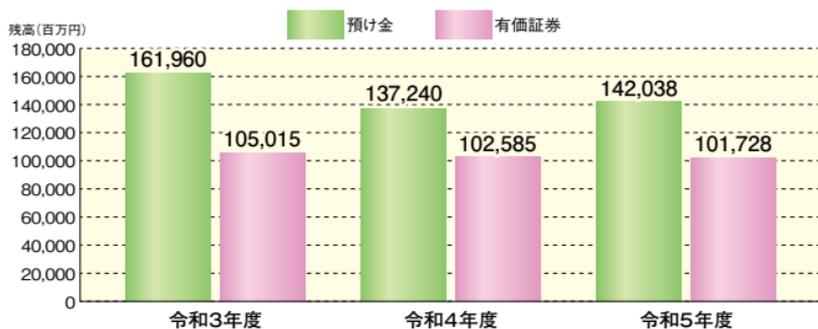
当期純利益



コア業務純益



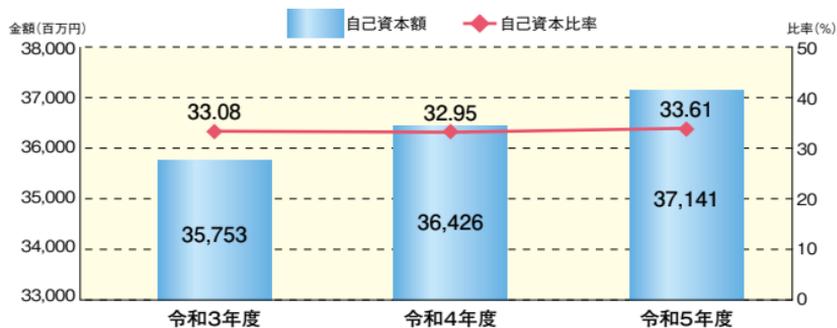
預け金・有価証券



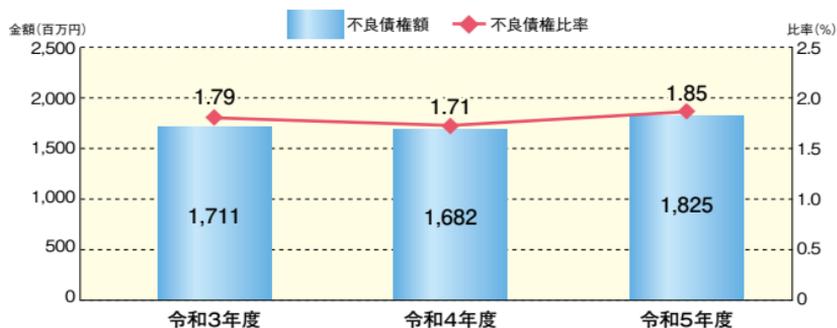
会員数



自己資本



不良債権



貸借対照表 (第74期 令和6年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	百万円	(負 債 の 部)	百万円
現 金	2,655	預 金 積 金	309,110
預 け 金	142,038	当 座 預 金	924
買 入 金 銭 債 権	750	普 通 預 金	131,794
有 価 証 券	101,728	貯 蓄 預 金	49
国 債	7,602	定 期 預 金	171,558
地 方 債	14,265	定 期 積 金	4,242
社 債	53,084	そ の 他 の 預 金	541
株 式	1,755	借 用 金	3,213
そ の 他 の 証 券	25,021	借 入 金	3,213
貸 出 金	98,180	そ の 他 負 債	499
割 引 手 形	50	未 決 済 為 替 借	98
手 形 貸 付	4,243	未 払 費 用	97
証 書 貸 付	91,950	給 付 補 填 備 金	4
当 座 貸 越	1,936	未 払 法 人 税 等	169
そ の 他 資 産	1,830	前 受 収 益	31
未 決 済 為 替 貸	42	払 戻 未 済 金	11
信 金 中 金 出 資 金	1,277	払 戻 未 済 持 分	22
前 払 費 用	33	リ ー ス 債 務	4
未 収 収 益	382	資 産 除 去 債 務	12
そ の 他 の 資 産	95	そ の 他 の 負 債	46
有 形 固 定 資 産	1,940	賞 与 引 当 金	40
建 物	324	退 職 給 付 引 当 金	236
土 地	965	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	91
リ ー ス 資 産	4	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	11
建 設 仮 勘 定	459	偶 発 損 失 引 当 金	10
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	186	債 務 保 証	602
無 形 固 定 資 産	20	負 債 の 部 合 計	313,816
ソ フ ト ウ ェ ア	12	(純 資 産 の 部)	百万円
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	7	出 資 金	10,648
繰 延 税 金 資 産	607	普 通 出 資 金	648
債 務 保 証 見 返	602	優 先 出 資 金	10,000
貸 倒 引 当 金	△ 897	資 本 剩 余 金	10,000
(うち個別貸倒引当金)	(△ 609)	資 本 準 備 金	10,000
		利 益 剩 余 金	16,233
		利 益 準 備 金	2,187
		そ の 他 利 益 剩 余 金	14,046
		特 別 積 立 金	13,000
		(店舗整備積立金)	(1,100)
		(経営安定特別積立金)	(300)
		(事務機械化積立金)	(300)
		当 期 未 処 分 剩 余 金	1,046
		会 員 勘 定 合 計	36,882
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 1,243
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 1,243
		純 資 産 の 部 合 計	35,638
資 産 の 部 合 計	349,454	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	349,454

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

第74期

令和5年 4月 1日から
令和6年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	
経 常 収 益		2,769,855
資 金 運 用 収 益	2,464,920	
貸 出 金 利 息	1,026,588	
預 け 金 利 息	287,622	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	1,127,934	
そ の 他 の 受 入 利 息	22,774	
役 務 取 引 等 収 益	173,471	
受 入 為 替 手 数 料	82,582	
そ の 他 の 役 務 収 益	90,888	
そ の 他 業 務 収 益	38,791	
国 債 等 債 券 売 却 益	10,799	
そ の 他 の 業 務 収 益	27,991	
そ の 他 経 常 収 益	92,672	
株 式 等 売 却 益	90,600	
そ の 他 の 経 常 収 益	2,072	
経 常 費 用		1,836,332
資 金 調 達 費 用	90,215	
預 金 利 息	73,514	
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	2,169	
借 用 金 利 息	14,531	
役 務 取 引 等 費 用	91,651	
支 払 為 替 手 数 料	24,912	
そ の 他 の 役 務 費 用	66,739	
そ の 他 業 務 費 用	5,948	
国 債 等 債 券 売 却 損	4,271	
国 債 等 債 券 償 還 損	0	
そ の 他 の 業 務 費 用	1,676	
経 費	1,536,734	
人 件 費	868,069	
物 件 費	605,858	
税 金	62,806	
そ の 他 経 常 費 用	111,783	
貸 倒 引 当 金 繰 入 額	78,569	
そ の 他 の 経 常 費 用	33,213	
経 常 利 益		933,522
特 別 利 益		45
固 定 資 産 処 分 益	45	
特 別 損 失		5,611
固 定 資 産 処 分 損	5,611	
税 引 前 当 期 純 利 益		927,956
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	241,418	
法 人 税 等 調 整 額	△ 4,455	
法 人 税 等 合 計		236,962
当 期 純 利 益		690,993
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		355,230
当 期 未 処 分 剰 余 金		1,046,224

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	金 額
当 期 未 処 分 剰 余 金	1,046,224,252 円
積 立 金 取 崩 額	300,000,000
事務機械化積立金取崩額	300,000,000
合 計 額	1,346,224,252
剰 余 金 処 分 額	1,086,963,308
利 益 準 備 金	70,000,000
普通出資に対する配当金	(年 2.00%) 12,963,308
優先出資に対する配当金	(年 0.02%) 4,000,000
特 別 積 立 金	1,000,000,000
(うち、無目的積立金)	(1,000,000,000)
繰越金(当期末残高)	259,260,944

上記のとおりであります。

令和6年6月

あぶくま信用金庫

理 事 長 太 田 福 裕
 常 務 理 事 折 笠 晴 久
 常 務 理 事 末 永 浩
 常 務 理 事 藤 村 武 志
 常 勤 理 事 武 田 淳 一
 常 勤 理 事 阿 部 高 浩
 理 事 只 野 裕 一
 理 事 石 川 俊 幸

以上、各項の監査の結果、適法かつ適正であると認めます。

常 勤 監 事 荒 祐 二
 監 事 鈴 木 伸 之
 員 外 監 事 平 間 廣
 員 外 監 事 佐 藤 高 義

なお、上記の計算書類は中島大公認会計士事務所 公認会計士 中島 大氏及び龍崎則久公認会計士事務所 公認会計士 龍崎 則久氏の監査を受けております。

令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)1年のあゆみ

令和5年	4月	新入職員入庫式
	5月	相馬野馬追執行委員会へ協賛金贈呈
	6月	南相馬市鎮魂復興市民植樹祭への参加 第26回あぶくまくらぶ旅行の実施 大熊町へ寄附金贈呈 第73期通常総代会の開催
	7月	第7回あぶくま信用金庫杯パークゴルフ大会の開催 第2回あぶしんマネーハイスクールの開催 (福島県立小高産業技術高等学校) 相馬野馬追御行列への参加
	8月	「双葉支店・夜の森支店・大熊支店」が 富岡支店内の店舗内店舗として営業再開 窓口用軟骨伝導イヤホン全店導入および13市町村へ寄贈 第5回あぶしん資産運用セミナーの開催
	9月	第1回あぶくま信用金庫杯卓球大会の開催 あぶしんマネースクールの開催(福島県立相馬支援学校高等部) Out of KidZania in ふくしま相双2023へ参加
	10月	富岡町社会福祉協議会へ無洗米を寄贈 福島県立相馬支援学校へ教材贈呈
	11月	あぶしんマネースクールの開催(南相馬市立原町第一小学校) ビジネスマッチ東北2023へ参加 2023“よい仕事おこし”フェアへ参加
	12月	新地支店開設40周年 富岡町への企業版ふるさと納税を活用した寄附 富岡支店開設70周年
令和6年	1月	広野町への企業版ふるさと納税を活用した寄附 第3回あぶしんマネーハイスクールの開催 (福島県立小高産業技術高等学校)
	2月	フードドライブキャンペーンへ協力(食品寄贈)
	3月	若手職員による投信ロールプレイング大会の開催 広野支店開設50周年 相馬野馬追執行委員会へ協賛金贈呈 第3回あぶくま信用金庫杯争奪学童野球大会の開催



あぶくまくらぶ旅行
「北海道新幹線で行く
初夏の函館」



お取引先への支援活動
“よい仕事おこし”フェアへ
参加



地域への貢献活動
第3回あぶくま信用金庫杯
争奪学童野球大会の開催

あぶくま信用金庫からのご案内

当金庫では、避難されているお客様からのご相談・お問い合わせにつきましては、本部内に設置しました「お客様サポート室」にて承っております。さらには、各地移動相談会を開催し、お客様のご要望にお応えできるよう努めております。

〈ご相談・お問い合わせ窓口〉 ・受付時間 平日 9:00～17:30
お客様サポート室 ・連絡先 TEL 0244-23-5132

【双葉支店・夜の森支店・大熊支店（店舗内店舗）について】

福島第一原発事故の影響により休止しておりました双葉支店・夜の森支店・大熊支店は、令和5年8月7日（月）より、「富岡支店」内の店舗内店舗として営業を再開しております。なお、今回の移転による、双葉支店・夜の森支店・大熊支店の名称・店舗番号・口座番号の変更はございませんので、お客様の通帳、証書、キャッシュカードはこれまでどおりご利用いただけます。

当金庫は今後も経営体質をより一層強化し、質の高いサービスの提供に努めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新NISAキャンペーンのご案内

キャンペーン期間

令和6年3月1日～令和6年9月30日

下記対象取引ごとに
クオカード1,000円
をプレゼント！

最大
クオカード
3,000円分

- ① NISA口座を開設 
- ② つみたて投資枠での新規ご契約
(増額も対象)
- ③ 成長投資枠での投資信託買い付け

※対象投資ファンドは「当金庫取り扱いのつみたて投資枠専用ファンド・成長投資枠対象ファンド」になります。／※対象取引②は期間中の新たなお申し込み分が対象で、既契約のつみたて投信での買い付けは対象外となります。／※特典は税務署での口座開設確認後、または受け渡し確認後のお渡しとなります。／※投資信託は値動きのある商品です。キャンペーン期間中のお申し込みが必ずしも有利になるとは限りません。



詳しい内容は、営業店の窓口または
得意先担当者までお問い合わせください。

店舗網・営業地域図



店舗のご案内

福島県

①	本部	南相馬市原町区栄町二丁目4番地	☎ (0244) 23-5132
①	本店営業部	南相馬市原町区栄町二丁目4番地	☎ (0244) 23-5131
②	富岡支店	双葉郡富岡町中央一丁目33番地	☎ (0240) 22-3161
③	双葉支店	双葉郡富岡町中央一丁目33番地(富岡支店内)	☎ (0240) 22-3161
④	夜の森支店	双葉郡富岡町中央一丁目33番地(富岡支店内)	☎ (0240) 22-3161
⑤	大熊支店	双葉郡富岡町中央一丁目33番地(富岡支店内)	☎ (0240) 22-3161
⑥	小高支店	南相馬市小高区仲町一丁目35番地	☎ (0244) 44-2151
⑦	浪江支店	双葉郡浪江町大字権現堂字新町33番地	☎ (0240) 35-2171
⑧	相馬支店	相馬市中村字錦町2番地8	☎ (0244) 36-5151
⑨	広野支店	双葉郡広野町大字下浅見川字築地22番地1	☎ (0240) 27-2121
⑩	東支店	南相馬市原町区錦町一丁目55番地	☎ (0244) 24-3175
⑪	飯舘支店	相馬郡飯舘村草野字大師堂74番2	☎ (0244) 42-1575
⑫	新地支店	相馬郡新地町谷地小屋字新地24番地	☎ (0244) 62-3431
⑬	いわき支店	いわき市自由ヶ丘37番8	☎ (0246) 38-8261
⑭	久之浜支店	いわき市自由ヶ丘37番8(いわき支店内)	☎ (0246) 38-8261
⑮	東支店北原出張所 (あぶくましんきんプラザ)	南相馬市原町区北原字境塚164番地の1	☎ (0244) 25-3641
⑯	本店営業部南出張所	南相馬市原町区国見町一丁目35番地	☎ (0244) 25-3765

宮城県

⑰	亘理支店	亘理郡亘理町字狐塚122番1	☎ (0223) 32-2081
---	------	----------------	------------------

ホームページアドレス <http://www.abukuma.co.jp/>

(令和6年6月1日現在)

窓口営業時間のご案内

当金庫では、**本店営業部を除く全ての営業店において昼休業**を導入しております。お客様にはご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本店営業部】 平 日 9:00～15:00

【昼休業導入店舗（本店営業部を除く）】

平 日 午前の部 9:00～11:30、午後の部 12:30～15:00
(11:30～12:30は窓口休業時間とさせていただきます)

*窓口昼休業時間中も、お電話での各種ご照会は受け付けております。

*ATMは窓口休業時間中もご利用いただけます。

【東支店北原出張所（あぶくましんきんプラザ）】

平 日 午前の部 9:30～11:30、午後の部 12:30～17:30
土日祝 午前の部 9:30～11:30、午後の部 12:30～16:00
(11:30～12:30は窓口休業時間とさせていただきます)

出資証券不発行のご案内

平素よりあぶくま信用金庫をご利用いただきまして誠にありがとうございます。さて、会員の皆様からお預かりした出資金につきましては、これまで出資証券を発行してまいりましたが、近年の株式会社における株券の不発行と同様、平成27年12月より出資証券を不発行とし、当金庫の会員名簿により電子的に一元管理しております。

会員の皆様からお預かりしている出資金は、電子データ等として厳格に管理しておりますことから、出資金残高ならびに会員としての権利等につきましては、これまでと変わりありませんのでご安心ください。

出資金残高につきましては、毎年6月にお送りいたします「出資金残高通知書兼出資配当金振込のご案内」でお知らせいたしますとともに、会員の皆様からのご請求時には「出資金残高通知書」を随時発行いたします。

なお、お手元の出資証券につきましては、回収いたしませんので、そのまま保管いただければ結構です。万一紛失された場合でも、お届けの必要はなく、出資金ならびに会員としての権利等に何ら影響はございません。

会員の皆様におかれましては、何卒格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお取引店の窓口または下記お問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先 **あぶくま信用金庫 総務部 ☎(0244) 23-5132**

